

## 国際平和拠点ひろしま構想推進計画（2025～2027年度）の策定について

### 1 要旨・目的

広島県は、国内外の有識者で構成する国際平和拠点ひろしま構想策定委員会から、平成23年10月に「国際平和拠点ひろしま構想」の提言を受け、平成25、28、31年度及び令和4年度に、3か年ごとの国際平和拠点ひろしま構想推進計画を策定してきた。

現行計画（計画期間：令和4年度から3か年）が今年度末に終了することから、これまでの取組を検証するとともに、国際平和拠点ひろしま構想推進委員会等の意見を踏まえつつ、次期計画を策定する。

### 2 現状・背景

これまでの取組により、国連関係者や各国政府関係者等へ積極的に働きかけ、個別の賛同を得るとともに、市民社会との連携を進めることができた。

しかしながら、ロシアによるウクライナ侵略など、核兵器を取り巻く国際情勢は、厳しさを増し、多くの国が核抑止への依存を高めつつある。

こうした中、被爆・終戦80年は、被爆地から核兵器廃絶への力強いメッセージを世界に発信し、核兵器のない平和な世界を実現する決意を新たにすることが非常に重要であり、日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）のノーベル平和賞受賞と合わせて、廃絶に向けた国際的な機運を、今後高めていくよう、取組を大きく進めていく必要がある。

### 3 概要

#### (1) 計画の位置づけ

広島県では、核兵器廃絶と復興・平和構築のための取組を包括的に進めるため、平成23年度に、国内外の有識者から「国際平和拠点ひろしま構想」の提言を受けるとともに、その翌年度に、構想による取組の方向性を示すものとして「国際平和拠点ひろしま構想推進ガイドライン」を策定した。

「国際平和拠点ひろしま構想」や「国際平和拠点ひろしま構想推進ガイドライン」で示された広島県の使命や役割及び目指す姿については、中期計画（2021（令和3）年度～2030（令和12）年度）として、広島県の総合計画「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」の目指す姿や目標にも、反映させている。

本計画は、「国際平和拠点ひろしま構想」、「国際平和拠点ひろしま構想推進ガイドライン」及び「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」を具体化する3か年の短期計画である。

(関連計画)

- ・「国際平和拠点ひろしま構想」(平成23年10月)
- ・「国際平和拠点ひろしま構想推進ガイドライン」(平成24年10月)
- ・「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」(令和2年10月) 【施策領域：平和】

## (2) 次期計画(案)の期間

令和7年度から令和9年度の3年間

## (3) 次期計画(案)の目標・枠組

目標：「核兵器廃絶に向けた国際的な合意形成を目指し、国際環境・体制を確立する。」(現行計画の目標を継続)

| 現行計画                                                                                              | 次期計画                                                                                                                                                     |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 核兵器廃絶に向けた新たな政策づくりと<br>多国間枠組みの形成<br>(1) 核抑止に替わる新たな安全保障政策づくり<br>(2) 国際的な合意形成を目指した多国間枠組み<br>づくり    | 1 核兵器廃絶に向けた新たな政策づくり<br>【安全保障アプローチ】<br>(1) 核抑止に頼らない新たな安全保障のあり方<br>に向けた調査研究<br>(2) 国際社会への積極的な働きかけ                                                          |
| 2 平和の取組への賛同者の拡大と世界への<br>働きかけ<br>(1) 賛同者の拡大と人材育成<br>(2) 多様な主体との連携<br>(3) 広島からの核兵器廃絶メッセージの<br>継続的発信 | 2 多国間枠組みの形成を目指した国際社会への<br>働きかけと賛同者の拡大<br>【持続可能性アプローチ】<br>(1) 国際的な合意形成を目指した多国間枠組み<br>づくり<br>(2) 多様な主体との連携<br>【非人道性アプローチ】<br>(3) 広島からの核兵器廃絶メッセージの継続的<br>発信 |
| 3 広島が有する経験や資源を生かした<br>復興・平和の構築<br>(1) 復興・平和構築人材の育成強化<br>(2) 放射線被曝者医療国際協力の推進                       | 3 次世代平和人材の育成<br><br>(1) 核兵器廃絶に向けて活躍する人材の育成<br>(2) 放射線被曝者医療分野で活躍する人材の<br>育成                                                                               |
| 4 持続可能な平和推進メカニズムの構築<br>(1) 様々な主体が参画するプラットフォームの<br>構築<br>(2) 情報発信機能の充実<br>(3) 拠点構想の推進              | 4 持続可能な平和推進メカニズムの基盤整備<br>(1) 様々な主体が参画するプラットフォームの<br>構築<br>(2) 情報発信機能の充実<br>(3) 拠点構想の推進                                                                   |

## (4) 次期計画(案)の内容

○概要(案)

別紙1のとおり

○本文(案)

別紙2のとおり